

入学式

4月5日、本校5号館講堂にて第36回入学式が挙行されました。東日本大震災で亡くなられた方々へ哀悼の意を表して1分間の黙祷を捧げました。交通機関が不安定であったこともあり、来賓をお招きすることもなく、保護者の皆様へは無理な参加をなさらぬようお願いしておりました。当日は混乱もなく多くの保護者の方々に出席いただき、新たなスタートをする新入生たちを祝福してくださいました。今年度の新入生は自動車整備科124名、一級自動車整備研究科61名、国際自動車整備科11名、自動車開発エンジニア科41名、計237名です。
（こ）で4月に就任された、大木宏高校長による新入生へのお話を紹介いたします。



新入生のみなさん、入学おめでとうございます。また、ご臨席の保護者の皆様にもごころからお祝い申し上げます。東日本大震災による多くの傷が癒えない中、こうして皆さんの元気な姿を見るのができて大変嬉しく思います。皆さんの中にはご自宅や、ご親戚、ご友人が被災された方も少なからずおられると思います。ホンダ学園は、そうした方々に心からのお見舞いを申し上げますとともに、微力ながらできるかぎり応援の活動を続けていきたいと思います。

この「世界に歓迎される人間」とはどのような人なのでしょうか。それはこの学園の目的である「チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者」を意味します。本田さんは何故、「優秀な技術者の育成」とか「高い知識を持った技術者の育成」と言わなかったのでしょうか。本田さんは「技術は人間に奉仕するひとつの手段」と考えていました。従って、技術はあくまで人間のためにあり、技術を持てる人は人間を尊重する心を持つていなければならぬ、という強い信念を抱いていたのです。ですからみなさんを支えてくれる方々、例えばご家族、友人、先生、お客様などそうした人々との心の繋がりが持てる自分があります。その上に優れた技術を築きあげていく事こそ技術者の道だということなのです。本田さんはこの学校の創立にあたり、「クルマやバイクの故障を直すだけではなく、お客様の心も治してほしい」と述べています。それが「人に愛され、信頼される技術者」であることの意味なのです。そして、本田宗一郎はその生涯を通じて、若い力の可能性を信じ、どのような困難に対しても飽くなき挑戦をする姿勢を貫いてきたのです。その気風はホンダグループの全てに深く浸透しておりホンダ学園においても「チャレンジ精神溢れた学生の育成」に務めています。本校は「世界に歓迎される人材」を育成するために、三つの方針を掲げています。

最後の「社会貢献の心と行動力を育む」というものです。みなさんはこれから本校での生活を始めますが、皆さんを迎えるのは私たち教職員や先輩たちだけでなく、学校周辺の住民の方々や地域社会も同様のものです。時に温かく、時に厳しく私たちを見ておられます。本校は、学園祭などに地域の皆さんをご招待しています。また地域の美化清掃、街道に花を植えるボランティアなどにも積極的に参加しています。このような活動は周辺から大変感謝されますが、反対に、交通事故や交通違反をしたり、社会のルールやマナーに反した行動をとれば厳しくお叱りを受ける事になります。この地で学ぶ事は、同時に周辺社会との調和を求められるものだと、言うことを、強く意識して下さい。

このたび、4月1日付で、学生課に着任しました三橋 稔です。前職場は、北海道鷹栖町にある(株)本田技術研究所 鷹栖ブルーピンググラウンドで総務全般を担当しておりました。学生課では、学生の皆さんへの就職に係わるアドバイザー等の業務を担当させていただきます。学生の皆さんの若いパワーを頂き、それを活力として業務を遂行して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

校長就任のご挨拶

校長 大木 宏高



ホンダでの私は、四輪シャシ設計者としてスタートしたあと、HRE-IG（ヨーロッパ研究所）設立、S-OFT室（社会研究室）設立、経営企画室設立などを経験し、その後海外企画室を経て、外部団体である自動車リサイクル促進センター（リサイクル制度運用母体）の運営に携わりました。純粋に開発技術者としての経験は短かったものの、短いなりに今振り返ってみれば、ホンダ初の四駆車（Acety）開発、B-Lとの共同開発（Legend）、ニエブルクリンクでの現地テスト（NSX）、欧州発の商品コンセプト策定（Concept）など、忘れられない体験を多くの仲間と共に分かち合いました。技術を糸口として、多くの得難い熱い経験をしました。



私は、2006年から拝命した校長を昨年度まで退任いたしました。今後は兼任しておりました、ホンダ学園常務理事に専任いたします。

校長退任のご挨拶

前校長 小栗 篤

本田技研から赴任した折には、企業と学校の違いに戸惑いましたが、周囲の方々のお陰でここまで来ることができました。皆様には心より御礼申し上げます。学校は若い命が未来に向けて歩む場です。未熟でもあり荒削りな魂ですが、無限の可能性を秘めた学生諸君との接触は大いに刺激になりました。今年度は大木新校長を迎え、創立35年目のスタートを切ることにあります。共に学園の発展を推進させていただきます。これからは皆様のお力添えをよりよくお願いいたします。

安全運転講習

4月の第3～4週、埼玉県浦和市の交通安全センターレインボー埼玉にて、新入生を対象とした安全運転講習会を実施しました。4月に予定していた洋上研修が東日本大震災の影響により中止となったため、新入生にとって初の校外行事となり、新しい仲間と親睦を深める機会にもなりました。講習会では安全運転の思想「人間尊重」を学び、クルマやバイクの正しい扱い方と事故を回避するためのポイント等を身につけました。将来、ほとんどの学生が自動車に係わる仕事をする事になります。自動車業界の一員となることをしっかりと自覚し、安全運転を実践しましょう。



防災訓練

GW 休暇前日の4月28日、全校生徒および全職員の参加する防災訓練が実施されました。大震災によって火災が発生したことを想定し、指定避難場所への移動や怪我人の搬送、点呼確認、消防本部の設置を行いました。また、人間東部地区消防組合本部協力のもと、消火器訓練や煙体験を行いました。火災発生時の対処・非難方法などをご指導いただきました。災害に対し私たちにできることは、日頃の備えを確認し防災意識を高めることです。訓練に先立ち、自衛消防隊の組織改定や避難場所の周知・役割ごとの作業内容を確認し、実際の訓練でその成果を確認することができました。

お知らせ

賛助会総会は延期となりました。4月1日付で、(株)ホンダカースから社会人講師として着任致しました宮坂明男と申します。販社ではサービスフロントとして整備や修理で来店されたお客様の受付業務全般を担当してまいりました。今回、教育の現場に来る事になり驚きもありましたが、今までの経験を生かし、学生の皆さんが社会に出てから学校との違いに戸惑わない様、現場の雰囲気や生の声を伝える事が出来ればと考えています。不慣れな点も多いと思いますが、よろしくお願い致します。

着任しました



このたび、4月1日付で、学生課に着任しました三橋 稔です。前職場は、北海道鷹栖町にある(株)本田技術研究所 鷹栖ブルーピンググラウンドで総務全般を担当しておりました。学生課では、学生の皆さんへの就職に係わるアドバイザー等の業務を担当させていただきます。学生の皆さんの若いパワーを頂き、それを活力として業務を遂行して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



4月1日付で、関西校より学生部に赴任した谷田京子です。携わるお仕事の内容は学生募集が中心となりますが、本校学生である皆様方との出会いを縁として大切に育てて行きたいと思っております。今後は、是非、次世代のHONDAを担う皆様方の「夢と希望を実現する」お手伝いができるよう頑張る所存です!!共に頑張ってください、夢を力支えにできる素晴らしい学園生活を実現させましょう!!どうぞよろしくお願い致します。



4月1日付で本田技術研究所四輪開発センターより異動してまいりました法原と申します。栃木研究所では第3期F1プロジェクトに参画し主にF1レースエンジンの組み立て及びエンジンメカニクを担当してきました。レースの世界で培った技術と経験を少しでも学生に伝えていきたいと思います。学生の皆さん、私もホンダ学園の卒業生ですのでいつでも気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願い致します。



4月1日付で、関西校より参りました吉田修一郎です。私は関西校を卒業し、現場での整備士の経験、サービスマニュアルの編集の経験、関西校での教員の経験と、多くのサービスマンに関わる仕事をしておりました。この色々な経験を学生の皆さんに少しでも伝えていけたらと思っております。学生の皆さんの若さ、元気に負けないよう、私も若さ、元気で何事にもチャレンジしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



4月1日付で、(株)ホンダカースから社会人講師として着任致しました宮坂明男と申します。販社ではサービスフロントとして整備や修理で来店されたお客様の受付業務全般を担当してまいりました。今回、教育の現場に来る事になり驚きもありましたが、今までの経験を生かし、学生の皆さんが社会に出てから学校との違いに戸惑わない様、現場の雰囲気や生の声を伝える事が出来ればと考えています。不慣れな点も多いと思いますが、よろしくお願い致します。

卒業式



平成23年3月11日、川越プリンスホテルにて「平成22年度卒業式」が挙行されました。卒業式の日、東日本大震災が発生し卒業式の中断を余儀なくされましたが、幸いにも怪我人を出さず、卒業生が無事帰宅できたことを確認することができました。ここで小栗校長による卒業生への言葉を紹介します。

卒業生のみならず、ご卒業おめでとうございます。

卒業生のひとり一人に卒業証書をお渡しでき、喜びと安堵の気持ち一杯です。今年の特徴は、二つの学科から初めて卒業生が誕生するという事です。ひとつは国際自動車整備科の一期生8名、そして一級自動車整備研究科の37名です。従来この学科は、二年制の自動車整備科卒業後に進学する二年コースでしたが、今年初めて四年制学科として卒業生を社会に送り出すことになりました。

さて今年度は、昨年に引き続きリーマンショックの影響が癒えず、全体としては氷河期と呼ばれるほど厳しい就職戦線でした。その中で皆さんは個々に努力や工夫を重ね、時に悩みながらも果敢に就職活動に挑み、それぞれのゴールを獲得されました。心から敬意を表したいと思います。

ここでみなさんへの贈（はなむけ）に、二つの話をしたいと思います。ひとつは、在学中にも話をした「レンガ積み」の話です。A、B、Cという三人がレンガを積んでいました。通りがかりの人が「あなたは何をしていますのですか？」と三人に質問しました。まずAさんが答えます。「親方に言われてレンガを積んでいるんだ。次にBさんが「壁を作っているのさ」と言いました。最後にCさんが「私は教会を作っているのです」と答えました。三人は見た目は同じことをしているのです。ただ、それぞれに持っている仕事への、意味の持ち方が大きく違うのです。よく「おもしろい仕事があった」と言いがたいある仕事がある」と言われませんが、そんな仕事があるから最初からあるわけではないのです。仕事に臨む人の姿勢や価値観、それがすべてを決めるのです。

皆さんはかつて狭山工場を訪問し、車体組み立てラインを見学しました。ある程度の習熟でラインの仕事はできるようなります。しかし、それぞれ心の持ち方が品質を左右します。Aさんのように、誰かに言われたからお金の為によっているという価値観では、品質は下がっていきま。逆に「私は世界中のお客様の安全と快適の為にこの工程を預かっている」という価値観で仕事をすれば、本当に高い品質が実現されるのです。皆さんも社会に出たら、最初から仕事を選び好みにすることなく、自ら担当する仕事に自ら高い価値を与える習慣を身につけてほしいと思います。

二つ目の話は、アメリカの保険会社の話です。この経営者は兄弟で、一攫千金を夢見て金鉱を掘り当てることを仕事にしています。コロラド州のある場所まで金脈を探していましたが、いくら掘っても金脈に到達できません。「このままでは、一文無しになってしまう」と兄弟は探掘を諦め、残ったお金を元手に保険代理店を開業しました。彼ら必死で働いた結果多くのお客様の信用を獲得し、その信用をバックに保険会社を作るにいたしました。その会社は現在、全米でも中堅クラスにまで成長しています。そんなとき、ひとつのニュースが兄弟の元に届きました。彼らが手放した探掘の場所に金脈が発見されたのです。しかも、彼らが諦めた場所のわずか3フィート（約90センチ）下のところ。彼らの夢はあと3フィートのところに在ったのです。そして、それを掘り当てない事で、彼らは一攫千金の甘い考え方を捨て、地道に誠実に働く事によって現在の地位を得たのです。この3フィートは、

卒業生総数 215名

一級自動車整備研究科	37名
自動車整備科	120名
国際自動車整備科	8名
自動車開発エンジニア科	50名

夢を諦めない事の大切さと、一方で誠心誠意をつくして働く事の大切さを兄弟に教えてくれたのです。みなさんにも是非、実社会でこの言葉をかみしめてほしいと思います。

本田宗一郎は「私は技術だけでなく世界に歓迎される人間を作りたい」との志で、この学園を創設いたしました。みなさんが送った学園生活での様々な経験が、知らず知らずのうちに「世界に歓迎される人」への礎を築いている事と思えます。その基盤の上に実業社会の経験や知識を地道に積み重ねていく中で、まさにその日が訪れると信じています。行く道には困難もあるでしょう。みなさんは、それを乗り越える力を備えています。どうか大きく羽ばたき、「人に愛され信頼される技術者」としての成功と豊かな人生を手に入れて頂きたいと思えます。



平成22年度卒業生表彰者

- 全国自動車大学校整備専門学校協会 会長賞**
- 国際自動車整備科.....安部 良介
 - 一級自動車整備研究科.....菅井 一雄
 - 自動車開発エンジニア科.....吉田 雄策
- 日本自動車整備振興会連合会 会長賞**
- 一級自動車整備研究科.....村田 恭平
- 財団法人自動車教育振興会 理事長賞**
- 一級自動車整備研究科.....田之岡 要介
 - 自動車整備科.....市川 智宏
 - 自動車整備科.....辻野 晃司
 - 自動車整備科.....中村 洋人
 - 自動車整備科.....岡本 美津希
 - 自動車開発エンジニア科.....網田 大暁
 - 自動車開発エンジニア科.....池本 誠

- （社）埼玉県専修学校各種学校教育振興会 会長賞**
- 一級自動車整備研究科.....須山 博之
 - 自動車整備科.....石井 直人
 - 自動車整備科.....大西 弘朗
 - 国際自動車整備科.....林 志勲
 - 国際自動車整備科.....住川 菜穂
 - 自動車開発エンジニア科.....鈴木 祐紀
 - 自動車開発エンジニア科.....新井 昭多
 - 自動車整備科.....武田 豊
- 埼玉県自動車整備振興会 会長賞**
- 自動車整備科.....井上 裕輔
- 全国専門学校体育連盟スポーツ賞**
- 一級自動車整備研究科.....竹越 光
 - 自動車整備科.....中村 達也
 - 自動車整備科.....松本 裕希
 - 自動車整備科.....佐々木 彩
 - 自動車整備科.....筑波 玲太



復興支援活動

一級自動車整備研究科の学生を中心に、東日本大震災の復興支援活動を行っています。深刻な津波被害を受けた宮城県の石巻市、気仙沼市へ、3月30～31日、4月16～17日、5月8～9日の期間で滞在し、自転車の修理と整備、水没バイクの復旧活動を行いました。「被災地では自転車が復興への一員を担っている」という学生の呼びかけにより多くの支援物資が集まりました。皆さんから預かった支援物資は、無事に被災地の方へ届けることができました。また、多くの自転車と水没バイクの復旧・整備を行うことができました。本校では引き続きこの活動をサポートしてまいります。

校内支援金 ¥69,852 皆様のご協力に感謝いたします。



ビジネスメイクアップ教室

女子学生同士の友好を深め就活力を高める特別企画として、ビジネスメイクアップ教室を実施いたしました。ヘアメイクアップアーティスト 佐野 ヒカル 先生をお招きして、ヘア・メイクの基本から応用、美しく見せる立ち振る舞いなどを指導いただきました。

開発エンジニア科 卒業制作発表会

企画、設計、製作、発表のプロセスを経験していく卒業制作。日頃の授業で学んだことをそのまま実践する場でもあり、発表会は学習成果の締めくくりとなります。3月4日、5日の発表会では、プレゼンテーションとデモンストレーションが行われ、レジャー、福祉、省エネルギーなどをテーマとした8つの製品が発表されました。「発表会で自分たちの製品を売り込む」という前提のもと、企画に至った背景や目的、目標要件などを細かく設定して開発に挑んできました。

卒業制作(テーマ)一覧

- 乗りやすい車いす
- フィットのDBW化の研究
- ガスボ(ガスボンベ)で動くEVカーの製作
- R&V (レジャー&ビークル)
- 新感覚のノリモノ製作
- 折りたたみバイク
- 振動による発電の研究

一級自動車整備研究科 研究発表会

3月7日、8日、一級自動車整備研究科3年生による、研究発表会が実施されました。研究テーマは、授業では取り上げられない内容、疑問に感じていること、自動車整備に関わることが中心で、学生たちがグループごとに検討していきます。コストやスケジュールなど幅広い視点で設定された研究テーマを一級の学生全員が共有することで、全員のレベルアップ図っています。

研究課題(テーマ)一覧

- エア抜き用ツール制作
- 定期点検のHow To マニュアル
- リアサスペンションの実車カットモデルの作成
- 座・Diesel 電気自転車の制作
- 触媒の性能
- NSXをより良い実習車として
- LED ※明日照らす誓約～
- 復元
- フレッシュ☆一実
- スイッチボックスTypeR

海外インターンシッププログラム

3月15日、国際自動車整備科の8名、自動車整備科の2名がニュージーランド、オーストラリアでの研修に向け成田空港から出発しました。3月11日に発生した東日本大震災の影響により、成田空港への到着が危ぶまれましたが、全員が無事に出発することができました。出発直前まで、緊迫する震災の様子を心配そうに見守っていましたが、「希望」を胸に10人は元気に出発していきま。彼らの活躍は、ホームページの学科紹介内にある、国際自動車整備科、海外研修レポートより見ることが出来ます。

転任のあいらし

今回、関西校に異動いたしました学生課の永尾です。学校では9年間お世話になりました。

永尾 信弘

4月1日付けで学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関西へ異動となりました。1年3ヶ月と短い間となりましたが、色々勉強させて頂き貴重な経験となりました。有難う御座います。在校生のみならず勉強や遊びは真剣に！より輝いて、社会人に向けて飛躍して欲しい。関係各所で、がんばっている姿を見る事を、楽しみに遠方より見守っています。

西江 昌記

4月1日付けで学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関西へ異動となりました。9年間は、多くの学生と共に切磋琢磨し、励まし合い、生長してきたつもりです。これからは、関東校で培った物を生かし、関西校で役立てていきたいと思えます。9年間、本当に有難うございました。

大竹 保

今回、関西校に移動する事になりました。9年間在籍しました。9年間お世話になりました。私自身の母校でもあり、2回目の卒業を迎える事となりました。9年間は、多くの学生と共に切磋琢磨し、励まし合い、生長してきたつもりです。これからは、関東校で培った物を生かし、関西校で役立てていきたいと思えます。9年間、本当に有難うございました。

退任のあいらし

ホンダ在籍は34年間でした。そのうちホンダ学園関西校19年、関東校4年の長きに渡り諸先輩方、同僚、そして学生のみなさんに支えられて今日まで来ることができました。この間に過ごした時間は私の人生そのものであり、これからの再出発に際して大きな力となりました。学園の取り巻く情勢は決して楽観視できるものではないと思えますが、教職員の高見へと導いて頂ければと願っております。創立35周年をお祝いすると共に、40周年、50周年と今後益々進化し続けることを、ホンダOBとして、またホンダ学園OBとして、願っています。本当に長い間有難うございました。

この度5年間お世話になりました。ホンダ学園関西校を去るにあたり学生の皆さんにお伝えしたい事があります。一、正直に生きて下さい。一、貪欲に生きて下さい。一、常に目標を持って下さい。一、短気をおさず、我慢する事を学んで下さい。一、一日一日を大切に過ごさず、卒業して下さい。以上です。お元気で。

赴任以来3年4ヶ月、とても楽しく充実した日々を過ごす事が出来ました。厚くお礼申し上げます。自動車整備と云う技術を通して、自動車の安心・安全・快適・楽しさを伝えてきましたが、便利で楽しい反面とても危険な乗り物である事も忘れなれないで下さい。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

森田 弘幸

4月1日より(株)ホンダカーブ玉へ復帰いたします。勤務先は新大宮ハイパースタです。勤務先は新としてよい経験ができました。社会人講師を感謝いたします。皆さんはこれを感謝いたします。皆さんはこれを感謝いたします。皆さんはこれを感謝いたします。

松下 豊

赴任以来3年4ヶ月、とても楽しく充実した日々を過ごす事が出来ました。厚くお礼申し上げます。自動車整備と云う技術を通して、自動車の安心・安全・快適・楽しさを伝えてきましたが、便利で楽しい反面とても危険な乗り物である事も忘れなれないで下さい。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

水野 博

赴任以来3年4ヶ月、とても楽しく充実した日々を過ごす事が出来ました。厚くお礼申し上げます。自動車整備と云う技術を通して、自動車の安心・安全・快適・楽しさを伝えてきましたが、便利で楽しい反面とても危険な乗り物である事も忘れなれないで下さい。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

浅井 義博

ホンダ在籍は34年間でした。そのうちホンダ学園関西校19年、関東校4年の長きに渡り諸先輩方、同僚、そして学生のみなさんに支えられて今日まで来ることができました。この間に過ごした時間は私の人生そのものであり、これからの再出発に際して大きな力となりました。学園の取り巻く情勢は決して楽観視できるものではないと思えますが、教職員の高見へと導いて頂ければと願っております。創立35周年をお祝いすると共に、40周年、50周年と今後益々進化し続けることを、ホンダOBとして、またホンダ学園OBとして、願っています。本当に長い間有難うございました。

